

**令和4年度 宮城県公立学校教員採用候補者 第2次選考  
集団討議 課題**

質 問 内 容	
1	命を大切にし、互いを尊重し合う心や、美しいものや自然に感動する心など、児童・生徒に豊かな心を育む上での課題をあげ、具体的な取組としてどのようなことが考えられるかをみなさんで話し合ってみてください。
2	児童・生徒の体力・運動能力を向上させるためには、家庭や地域との連携が重要です。連携を進める上での課題をあげ、具体的にどのような連携を図ることができるかをみなさんで話し合ってみてください。
3	今の教育で求められている「確かな学力」を児童・生徒に育成する上での課題をあげ、それを解決する手立てについて、みなさんで話し合ってみてください。
4	児童・生徒の国際感覚を育成する上での課題をあげ、他国の文化について知り、相互の違いを理解する上での具体的な方法について、みなさんで話し合ってみてください。
5	学校に一人1台のタブレット端末が導入されるなど、児童・生徒の学習環境が大きく変化しています。学校におけるICT活用の課題をあげ、より効果的な活用の仕方について、みなさんで話し合ってみてください。
6	児童・生徒の学びの連続性や不登校の未然防止の面などからも、小・中・高等学校の校種間連携は重要です。連携を進める上での課題をあげ、具体的にどのような連携を図ることができるかをみなさんで話し合ってみてください。
7	近年、子供たち一人ひとりの様々な教育ニーズに応じたきめ細かな教育が求められています。そのような教育を実践する上での課題をあげ、それを解決する手立てについてみなさんで話し合ってみてください。
8	国際化社会で活躍する人材を育成するための基盤として、児童・生徒が自国や郷土の歴史への関心を高め、理解を深めることが重要です。そのような教育を実践する上での課題をあげ、具体的にどのような取組が考えられるか、みなさんで話し合ってみてください。
9	震災からの復興を実現し、地域振興・活性化を目指す宮城の将来を担う人材づくりが求められます。そのような人材を育成していく上での課題をあげ、具体的にどのような取組が考えられるかをみなさんで話し合ってみてください。
10	宮城県において、防災教育をさらに充実させていくためには今後どのような取組を行なっていく必要があると考えますか。現状における課題をあげ、具体的な取組についてみなさんで話し合ってみてください。
11	不登校児童・生徒の増加は宮城県の喫緊の課題です。不登校リスクを抱える児童・生徒に対し学校としてどのように関わっていけばよいか、関わる上での課題をあげ、対応策についてみなさんで話し合ってみてください。
12	学校が抱える課題が多様化、複雑化し、学校に求められる役割が拡大する中で、外部人材の活用が求められています。外部人材を活用する上での課題をあげ、その対応策についてみなさんで話し合ってみてください。
13	教育活動を推進していくためには、学校と家庭や地域との連携・協働が重要になります。家庭や地域から信頼される学校をつくっていく上での課題をあげ、その解決策についてみなさんで話し合ってみてください。
14	児童・生徒が発するSOSを見逃さずにキャッチするためには、日頃から児童・生徒の細かな変化を見取ることが重要です。そのような視点で児童・生徒と関わりをもつ上での課題をあげ、具体的な取組についてみなさんで話し合ってみてください。
15	コロナ禍において、学校現場では様々な制限が生じる中で教育活動を行っています。そのような中で、児童・生徒が達成感や充実感を得られるような学校行事とする上での課題をあげ、どのような工夫ができるかをみなさんで話し合ってみてください。
16	コロナ禍において、学校現場では様々な制限が生じる中で教育活動を行っています。そのような中で、「主体的・対話的で深い学び」を実現していく上での課題をあげ、それを解決する手立てについて、みなさんで話し合ってみてください。